



【公開講座】 サプライチェーンの労働問題を考える ユニクロの下請労働者がインドネシアから補償を求めて来日

10月7日から14日に、インドネシアのユニクロの下請会社であったジャバ・ガーミンド（JG）社の労働者と支援団体のスタッフが来日します。JG社は、ユニクロからの生産委託が打ち切られて倒産。労働者たちは一部賃金と退職金が支払われなまま解雇されています。労働者たちは、未払い賃金・退職金を求め、ユニクロの社会的責任を追及して闘っています。本講座においては、労働者の訴えを聞き、サプライチェーン（下請企業）における労働問題を知り、ユニクロなどの多国籍企業の社会的責任や日本で私たちに何ができるかを考えていきたいと思ひます。ご関心あるみなさんのご参加を呼びかけます。報告は通訳付きです。

【報告】

ソ・シヨン	CCCEA-クリーン・クローズ・キャンペーン東アジアコーディネーター	
ティ・プトラ	ジャバ・ガーミンド労組委員長	JG労働者に何がおきたか
ワーニ・ナピツゥプル	ジャバ・ガーミンド女性労働者	女性労働者からの声
ムチャマド・ダリズマン	WRCインドネシアスタッフ	インドネシアにおけるサプライチェーン労働者の現実
ミリアム・フートン	CCC国際事務局	世界のサプライチェーンとCCCの活動
遠野はるひ	CCC東アジア運営委員	日本で何ができるか

日時：2018年 **10月13日**（土）14:00～17:00（13:30開場）

場所：明治大学駿河台キャンパス・アカデミーコモン8階308F

共催：明治大学労働教育メディア研究センター

サプライチェーンを考えるネットワーク

参加費：無料

参加申込み：資料準備の都合で、参加を希望される方は、10月11日までに明治大学労働教育メディア研究センター（labored@meiji.ac.jp）に連絡をください。



拝啓 柳井正様

こんにちは。御社からいただいたお手紙にお礼申し上げます。ですが、どうも私たちからのメッセージがきちんとご理解いただけなかったのではないかと懸念があります。……御社から提示された解決策は、私たちがこれまで差し上げた書面にて繰り返し申し上げてきた、今回労働者たちが直面しているメインの問題に触れていません。

ユニクロはジャバ・ガーミンド工場から買い付けていたブランドのうち、最も多額の取引をしていた一つであり、工場をコントロールする力がありました。しかしながら、御社は撤退にあたり、御社のために懸命に働いてきた労働者に対する配慮を全く示しませんでした。……私たちジャバ・ガーミンド労働者の離職手当の権利に対して責任を果たしてもらいたい、という私たちのユニクロへの要求を、再度申し述べます。

2018年9月20日 敬具

テディ・セナディ・プトラ
ジャバ・ガーミンド労働組合委員長
(一部抜粋)

▶▶▶ UNIQLO *action* ▶▶▶

3年以上も争議を続けている当事者たち、ジャバ・ガーミンド社(JG) 労組委員長のテディさんと JG 女性労働者のワーミさんは、「柳井社長と交渉したい、毎日でも行動をしたい」という必死の思いで来日します。この気持ちを受け止めて、JG 労働者を支援する行動を下記のようにおこないます。どうぞ、ご参加ください。

*CCC、CCC 東アジア主催の抗議行動

●10月9日(火) 14時から17時頃

厚生労働省玄関前に集合(霞が関駅出口B3a, B3b)して、
ユニクロ東京本部とユニクロ有明本部等で要請行動

●10月13日(土) 11時から12時頃

ビックロ・ユニクロ新宿東口店前(新宿三丁目駅A5出口等)集合

※ 詳細はクリーン・クローズ・キャンペーン(CCC)東アジアの遠野まで電話(045-353-9008)かメール(yokohama-arc@jca.apc.org)でお問い合わせください。

※ この他にも労働組合が10月10日に銀座ユニクロ前で抗議行動を予定しています。